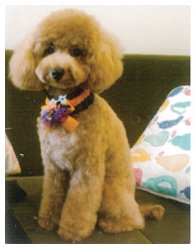
だんかづら



マロン、5歳。もこもこの毛がかわいいトイプードル。シャイで甘えん坊の男の子。お母さんと一緒にボール遊びをするのが大好きです。

鎌倉市笛田　直井さん方

お知らせ

●ペットの写真募集
掲載後、その写真をカレンダーにして進呈します。

●歌壇・俳壇の投稿
ハガキ1枚に3首（句）まで。住所・氏名・☎を明記（歌壇・俳壇は作品と同じ面に）、1面題字下住所の鎌倉朝日へ。

●連続歴史セミナー　第3回「また玉縄城の素晴らしさ発見！」は2月27日に延期となりました。

季節の心

雪の殿様

52

佐伯　仁

●雪の素顔に魅せられて

二月。衣更着。もう一枚、着物を重ね着したくなる寒さ。

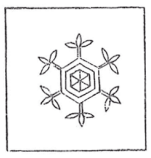
風は寒さを運び、寒さは雪を呼ぶ。満月が雪に映える小正月の夜、雪女が大勢の雪童子を従え、雪山を疾走。民話の古里遠野の囲炉裏端で語られる怖いお話。

同じく遠い王朝の随筆「枕草子」には雪晴れの朝、中宮の「香炉峰の雪は？」の問いに無言で御簾をあげた清少納言に若い中宮は微笑で応じた。

教養と機智で互いに絆を結んだ、実に心憎い雪景色。

同じ王朝の長編「源氏物語」の「末摘花」には逢引きの夜、明けるとなんと雪、雪、雪。

透ける白い肌、垂れ下がった赤い鼻、はおった黒貂のコート。初めて見る異様な容貌。同じ雪でも雪が映すドラマには陰影が交差する。



土井利位の描いた雪の結晶（『雪華図説』）

一方、雪を科学の目で覗いたのは、江戸・天保期の人物、下総古河藩（現茨城・古河市）の殿様、土井利位。

オランダ製蘭鏡（顕微鏡）で86の雪の結晶を観察し、「雪華図説」を刊行し話題を呼んだ。

殿様が苦心して蒐集した雪形は、今も浴衣の柄や和菓子の意匠に生き生きと息づいている。

水に落ちし　椿の氷る
余寒かな　凡董

みる

▼「出土文字資料からみる　古代の神奈川」展
2月9日～3月28日県立歴史博物館。出土文字資料の多様性、資料性と最新の研究を紹介。3百円。☎045・201・0926

▼清水一二　パラスポーツ報道写真展「知ることが力になる」
2月6日～3月21日本郷台のあーすぷらざ。障がい者という範囲を超えた人間の魅力を伝える。無料。☎045・896・2121

▼「ヒコーキと美術」展
2月6日～4月11日横須賀美術館。20世紀の一大発明が与えた影響を絵画や資料を通じ考える。千円。☎046・845・1211

▼第57回新春書道展
2月16～21日鎌倉生涯学習センター。全国の会員、公募で寄せられた自由テーマの書道作品展。学生の優秀作品の展示も。無料。日本総合書芸院☎23・2100

▼生誕百年金達寿展
▽記念上映会『神々の履歴書』2月20日13時半、神奈川近代文学館。日本のなかの朝鮮文化を克明に描いた異色の古代史探求長編ドキュメンタリー。8百円、前売6百円。▽講演会「いま、新しく読む金達寿」3月7日14時。千円。要申込。講師は作家・黒川創さん。☎045・622・6666

きく

▼第23回癒しのクラシックコンサート
3月7日14時、鎌倉芸術館。湘南鎌倉フィルハーモニック管弦楽団のコンサートと医療講演。3500円。要申込。https://iyashinoiryo.com

▼山本貴志ピアノ・リサイタル
2月7日の公演はコロナ禍で延期になりました。3月14日14時、藤沢リラホール。湘南モーツァルト愛好会例会。モーツァルトピアノソナタニ長調K284、ショパンなど。4500円。☎046・872・1963

さんか

▼カローリング体験
2月14日10時、鎌倉市立大船中学校。カローリング体験とゲーム大会。個人3百円、一家族5百円。要申込。生涯スポーツ普及実行委員会☎43・3419

▼北鎌倉・台峯の緑（しぜん）をともに
▽山の手入れ2月20日10時、山ノ内配水池横。▽山歩き21日9時、山ノ内公会堂。北鎌倉の景観を後世に伝える基金・望月方☎45・7420

▼ふらっとカフェ鎌倉
2月24日16時半、ソンベカフェ。テイクアウトのみ。5百円。要申込。※食料の寄付と困窮者へ配布も受付。渡邉方☎090・5199・1654

▼逗子の市（雨天中止）
亀岡八幡宮境内。

▽フリーマーケット2月26日9～15時。雑貨・衣類・手造り品など約20店。▽骨董市27日8～15時。出店者募集。片岡方☎090・5442・3778

第70回県歌人会短歌大会

紙上で行う短歌大会とし、全応募作品を冊子にまとめ、入賞作品について短評を付して応募者へ郵送。

【応募方法】未発表の歌1首に住所、氏名、電話番号を明記し出詠料（定額小為替5百円）と一緒に横浜市金沢区釜利谷西1－46－6後藤惠市さんへ。

【締切】2月28日（当日消印有効）

【賞】神奈川県知事賞、神奈川県歌人会長賞など。

後藤惠市方☎045・782・8778

ユネスコ世界寺子屋運動「書きそんじハガキ」募集

ネパールの寺子屋

アジアの子どもたちに教育の場を提供するために、換金して資金にする書きそんじハガキや未使用の切手などを募集。

5月末までに〒2248－0012鎌倉市御成町11－40Mビル3F　鎌倉ユネスコ協会へ送付。☎38・8190

まなぶ

▼第8回人権シンポinかながわ
2月6日9時45分、関内ホールとオンライン。映画『眠る村』、講演「えん罪と死刑について考える～名張毒ぶどう酒事件から」、神奈川県弁護士会人権賞贈呈式など。無料。神奈川県弁護士会☎045・211・7705

▼遺言と任意後見～最期まで途切れない安心を
2月19日10時、鎌倉市福祉センター。鎌倉市在住者対象。弁護士による成年後見制度と民事信託の講演。講師は弁護士・内嶋順一さん。無料。要申込。鎌倉市成年後見センター☎38・8003

▼コロナに負けない漢方養生法
2月19日13時半、名越やすらぎセンター。鎌倉市在住、60歳以上対象。コロナ禍がもたらした心身の不調に負けない養生方法を学ぶ。講師は回生堂大町薬局薬剤師・松村夕起子さん。要申込。☎25・1188

▼鎌倉市高齢者生活支援サポーター養成講座
2月24・26日9時半、大船学習センター。鎌倉市在住者対象。加齢により日常生活に不自由を感じる高齢者宅に訪問し活力を与える事業へ参加するサポーター養成講座。無料。要申込。鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター☎48・1130

▼もしもの時に備える救命救急医のメッセージ
2月25日10時、玉縄学習センター。鎌倉市内在住、65歳以上対象。コロナ禍の中、救急医療の現状から日頃の健康管理や心構え医師からを学ぶ。無料。要申込。市民健康課☎61・3977

▼60歳からの健康と働き方セミナー
3月4日13時半、鎌倉芸術館。60歳以上対象。シルバー人材センターでの働き方の紹介、かながわ健康財団の講演「感染症に負けない！免疫力アップの食事」と健康体操。無料。要申込。神奈川県シルバー人材センター連合会☎045・633・5432

美術館・文学館めぐり

県立近代美術館　葉山 ☎046・875・2800	フランシス・ベーコン	当面休館。20代初期作品10点や素描、資料の展示	～4/11 1200円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	北斎と肉筆 浮世絵の美	「酔余美人図」など氏家浮世絵コレクション	～2/14 400円
鎌倉文学館 ☎23・3911	作家 身のまわり その2	里見 弴、小津安二郎ら作家のゆかりの品々を展示	～4/11 300円
鎌倉市川喜多映画記念館☎23・2500	バレエ映画の世界 日本バレエ発祥の地・鎌倉	日本バレエの礎を築いたパヴロバの足跡を辿る	～3/14 200円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	戦国時代の鎌倉－もとの都に成してこそみめ	鎌倉の基礎を知る出土品や古文書の展示	～2/13 300円
北鎌倉古民家ミュージアム☎25・5641	おひなさま展	江戸から昭和のひな人形や小物、屏風の展示	～5/9 500円
北鎌倉葉祥明美術館 ☎24・4860	葉祥明絵本原画展『あのひのこと』	東日本大震災を題材にした絵本の原画展	～3/26 600円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	拓本で知る武州かねさは	武州金沢地域の石碑の拓本から金沢の歴史をたどる	2/9～3/21 250円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	北海道の大自然が生んだ山口蓬春・新日本画の魅力	郷里、北海道が所蔵する代表作品を展示	2/6～4/4 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	藤沢トラフィック	藤沢市の交通、地図の変遷を紹介	～2/14 無料
藤沢市アートスペース ☎0466・30・1816	Artists in FAS 2020	入選アーティストの成果発表展	～3/21 無料
茅ヶ崎市美術館 ☎0467・88・1177	桑久保徹	カレンダーシリーズなど。2/13から春季収蔵作品展	～2/7 600円
神奈川近代文学館 ☎045・622・6666	生誕100年　金達寿展	日本人と朝鮮人の相互理解を希求した作品の展示	～3/14 260円
大佛次郎記念館 ☎045・622・5002	コンとコトン～大佛夫人と白猫ものがたり	作品と横浜、鎌倉のつながりを紹介	～4/18 200円
横浜美術館 ☎045・221・0300	トライアローグ	ピカソ、ダリなど20世紀西洋美術コレクション	～2/28 1500円
県立歴史博物館 ☎045・201・0926	出土文字資料からみる古代の神奈川	県内の出土資料から古代神奈川の様相を紹介	2/9～3/28 300円
そごう美術館 ☎045・465・5515	再興第105回院展	受賞作品や県出身、在住作家の作品を展覧	2/6～3/14 800円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急きょ中止・延期になる場合があります。
開館状況については、各施設にお問い合わせください。

鎌倉朝日歌壇

木村　雅子　選

スーパーの等間隔に立つレジのかごにあまおう艶めきてあり　逗子市　湊　美根子

鬱々したコロナ禍、せめて艶めく赤い苺に元気を貰う。父の押すバギーに乗る子は確りとぬいぐるみ持ち託児所に着く　玉縄　杉山まるゑ

親と離れる不安をぬいぐるみが支える象徴的な作品。海面に朱の一筆を描きつつ夕陽は消ゆる江ノ島沖に　笛田　入野　裕江

夕映えの消える前の一刻「朱の一筆」が印象的な一首。三人の孫合作の年賀状そなへし餅に並べ飾れり　今泉台　下田　和夫

大笑いと落胆の絶叫捲き起る新春恒例坊主めくり　扇ガ谷　鈴木　久子

冬の木に母乳飲ませるごとく陽はやわらかな光注いでいたり　城廻　塩田　文子

「新しい日常」という幽閉の日々流れゆき年あらたまる　藤沢市　三浦　和子

歳明けに箱根の山をひた走る青き炎を身にまとひつつ　葉山町　近藤美知子

母と娘（こ）の苺すかしのマスク模様小春日和のバス停留所　岡本　鳴海　紀政

如月の氷雨に濡れし托鉢の袈裟の衣に白椿落つ　葉山町　近藤　純

初夢は亡き師の点てる濃茶席ゆったり静かに時は流れる　大船　小笹岐美子

鎌倉朝日俳壇

星野　高士　選

〈天〉寒き夜の人差し指のデジタル化　腰越　小河　哲美

何といってもデジタル化という言葉を持ってきて新しい一句。寒い夜の時間の使い方にも着目して面白い。

〈地〉若布舟幼な馴染みの櫓の捌き　台　魚住　藤明

若布舟は遠くから見ると春の風景として趣があるが、幼な馴染みと言っても年季が入っているのであろう。

〈人〉江ノ島を越す火の高さ浜どんど　山ノ内　高橋　仁

江ノ島を越すで作者とどんどの場所の距離感がよく出ていた。沢山の厄が祓われたのであろう。

独りとは一人であらずお正月　城廻　小美野京子

独りと一人は同じであるが、文字の違いで状態を上手く伝えられた。正月のふとした時間がよい。

風花に手のひら出して逃げらるる　笛田　上田　満喜

風花はすぐ消えてしまう儚いもの。情のある作品。

冬晴れて鳴き交はす鳥名を知らず　植木　風見　玲子

いかにも冬晴れの午の作者が浮かんできた一句。

早々に松飾りして娘の笑顔　今泉　小林刀羊子

大空に色増す葉っぱ淑気かな　城廻　増田　重雄

風喰る七草粥は湯気の中　腰越　大川　昭子

福寿草傘寿に集う湯治宿　岡本　鳴海　紀政

除夜の鐘コロナ収束願い聞く　腰越　吉田　昭子

中天に日も寝姿山眠る　材木座　羽賀　一男

海に向く裸木の列明日を待つ　腰越　松原　薫

暮れてより裏路ともる花八ッ手　大船　添田　洋子

初茜森羅万象清めたり　藤沢市　三浦　和子

落日を受けとめきれず師走かな　藤沢市　青木寿美子

何もかも食べ尽したる三日かな　本鵠沼　森田　順子

初電車いつもの位置に待ちにけり　藤沢市　一色千穂子

立春を告げて何処か迷蝶　葉山町　近藤　純

大いなる由比の落日実朝忌　逗子市　塩谷あい子